

中津市地域子育て支援センターポール

ガイドラインに基づく自己評価集計表（2022年9月評価実施）

評価項目		あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
01 地域子育て支援拠点とは					
①	親子が集う場を提供し、親子の交流を通して親同士の支えあいや子ども同士の育ちあいを促している		3		
②	子育て等に関する相談や援助を行っている		3		
③	利用者に対して子育てに関する情報を幅広く収集し、情報の提供を行っている	3			
④	子育てや子育て支援に関する講習などを月1回以上実施している	3			
⑤	地域支援の視点に立って、地域の連携や交流を図るなどの活動に取り組んでいる				3
02 基本的な考え方					
①	親および子どもの性別、出身地、民族、国籍、障害などにかかわらず、すべての親子を支援の対象としている	3			
②	子ども一人一人の最善の利益を尊重している	3			
③	親が支えを得て子育てに取り組み、子供に向き合うゆとりと自信を持てるように支援している	3			
④	子どもが様々な人たちとの関係性の中で、他者への信頼感を高められるように支援している	2	1		
⑤	親子の孤立を防ぎ、子育ての不安感を軽減するように努めている	3			
⑥	子育てをめぐる多様な福祉的課題にも目を向け、地域の関係機関と連携しながら子育て家庭を支援している		3		
03 支援者の役割					
①	あらゆる利用者に対して、日常的な挨拶と笑顔で温かく迎え入れている	3			
②	日頃から利用者とかかわり、気兼ねなく相談に応じられる態度で接している	3			
③	利用者全体の動きをよく把握し、必要に応じて親同士・子ども同士を紹介し、結び付けている	3			
④	世代を超えた地域の人たちがボランティアとして活躍できる機会をつくりだし、積極的に地域交流を図っている		3		
⑤	子育てサークル・乳幼児健診などの親子が集まる場に積極的に出向き、拠点の利用を促している				3
04 子どもの遊びと環境づくり					
①	子ども一人一人をありのままに受容している	3			
②	発達に応じて遊びこめるように、遊具の配置やコーナー分けに工夫をしている	3			
③	決められたプログラムに終始せず、子ども同士の自発的な遊びやかかわりあいを促している	3			
④	親が過剰に介入することなく、子どもたちが自由に遊べるように努めている	3			
⑤	地域のボランティアなどとの交流を促し、子供の社会性を豊かにはぐくむ環境づくりに努めている	3			

05 親との関係性					
①	利用者集団の中に身を置き、日常的に親子とかかわる時間を大切にしている		3		
②	利用者がいつでも支援者に手助けを求めることができるように、水平・対等な関係を築いている	3			
③	利用者との日常的な会話や態度などの様子を通して、家庭での子育てや生活背景の理解に努めている	3			
④	日頃から自身の考え方やふるまいを意識的に見つめ直し、支援者としての自己覚知に努めている	3			
06 受容と自己決定					
①	相談に際しては、相手の感情を受容し、共感的な態度で接している	3			
②	利用者の悩みを理解し、その軽減や解決のための方法をともに考え、最終的に本人の自己決定を尊重している	3			
③	子どもの個性や発達を理解し、親とともに成長を見守っている	3			
④	子どもの興味や関心に共感し、自ら遊びを選択できるようにかかわっている	3			
07 守秘義務					
①	地域子育て支援拠点事業実施要綱の守秘義務規定に基づき、利用者の個人情報保護し、業務遂行以外に用いていない	3			
②	不特定多数の利用者が訪れる場であることをふまえ、相談の場の環境や記録等の管理について十分に配慮している	3			
③	広報誌・通信やホームページ等での情報の扱いについて十分に配慮している	3			
④	ボランティア等の協力者にも守秘義務についての共通理解を求め、個人情報の範囲について共有している	3			
⑤	「児童虐待の防止等に関する法律」に規定された通告義務を理解し、虐待の発見に備えて関係機関等との協力関係をつくっている		3		
08 運営管理と活動の改善					
①	事故やけがの防止、衛生管理、災害時等の対応を職員間で話し合い、運営管理面の方針を明確にしている		3		
②	運営や活動内容に関して、利用者ボランティア等の協力者と話し合う機会を設けている		3		
③	利用者に直接意見を聞いたり、アンケートを行うなど、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組んでいる		3		
④	個別の相談に応じたケースの記録、日報や活動記録などを作成し、支援の検証や改善につなげている	3			
09 職員同士の連携と研修の機会					
①	職員同士が相互にチームワークの向上に努めている	3			
②	定期的にミーティングやケース会議を持ち、相互に利用者理解を深め、職員間で協力し、支援している	3			
③	研修の機会を積極的に活用し、常に職員の資質と専門性の向上に努めている	1	2		
④	支援者自身の成長を助けるために、職員間で話し合ったり、外部の専門家などの助言の機会を設けている		1	2	